

医学系研究に関する情報公開および研究協力をお願い

聖隷浜松病院では、当院の臨床研究審査委員会の承認を得て、下記の医学系研究を実施しております。

研究の実施にあたり、対象となる方の既に存在する試料や情報、記録、あるいは、今後の情報、記録などを使用させていただきますが、対象となる方に新たな負担や制限が加わることは一切ありません。

ご自身の試料や情報、記録を研究に使用してほしくない場合や研究に関するお問い合わせなどがある場合は、以下の「問い合わせ窓口」までご連絡下さい。研究への参加を希望されない場合、研究対象から除外させていただきます。研究への参加は自由意思であり、研究に参加されない場合でも、不利益を受けることは一切ありませんのでご安心下さい。

研究課題名	慢性呼吸器疾患患者に対する人生会議手帳を用いたアドバンス・ケア・プランニングのアンケート調査
研究責任者	聖隷浜松病院 呼吸器内科 橋本 大
研究実施体制	研究責任施設 聖隷浜松病院 呼吸器内科
研究期間	臨床研究審査委員会承認日 ～ 2029 年 3 月 31 日
対象者	聖隷浜松病院呼吸器内科の入院および外来において人生会議手帳を用いたアドバンス・ケア・プランニング(ACP)が行われた慢性呼吸器疾患患者さんおよびそのご家族等。
研究の意義・目的	アドバンス・ケア・プランニング(advance care planning: ACP)とは人生の最終段階における生活や医療など重要な意思決定をしなければならないときに推奨されるプロセスのことです。厚生労働省は「人生の最終段階における医療・ケアの決定プロセスに関するガイドライン」を策定し、人生の最終段階における医療・ケアについて本人が家族等や医療・ケアチームと事前に繰り返し話し合うことを推奨しています¹⁾。浜松市では、在宅医療介護連携推進事業を通じてACP啓発を進めるために、令和元年(2019年)12月に人生会議手帳という冊子を作成しています²⁾。 慢性呼吸器疾患におけるACPに関しては、特に非がん性呼吸器疾患においてその普及が課題となっており、予後予測が困難であることや患者さん・ご家族等の疾患理解不足などの問題点が指摘されています³⁾⁴⁾。ACPの開始時期は意思決定能力が低下する前で、医療などについて選択を迫られることが起こる前に行うことが推奨されておりますが³⁾、急性増悪時などに初めて予後に関する話し合いが行われることが少なくなく、緩和ケア介入の遅れにつながることが示唆されています⁵⁾⁶⁾。 そのため、当院呼吸器内科では、2021年4月から主に非がん性呼吸器疾患患者さんに対してACPを行う際に人生会議手帳を用いた取り組みを開始しています。市民向けに作成された共通の冊子を用いることで、本人・家族のACP開始への抵抗が減り、見返すことで繰り返し話し合うことが可能となり、さらに、本人の意向を記した情報共有ツールになることが期待されます。しかしながら、最適なACP方法やタイミングは個々の症例によって異なります。本研究では、人生会議手帳を用いたACPが行われた慢性呼吸器疾患患者さんおよびご家族等を対象としたアンケート調査を行い、その有用性や問題点を明らかにすることを目的としています。 参考文献 1) 厚生労働省. 人生の最終段階における医療・ケアの決定プロセスに関するガイドライン. 2018. 2) 浜松市健康福祉部高齢者福祉課. 人生の最終段階に向けて医療・ケアに関する話し合い(アドバンス・ケア・プランニング) 第2 版. 2022. 3) 日本呼吸器学会・日本呼吸ケア・リハビリテーション学会合同. 非がん性呼吸器疾患緩和ケア指針2021. 2021. 4) 小谷内敬史ら. 非癌性呼吸器疾患にACPを広げるうえでの課題. 緩和ケア. 2022; 32: 209-213. 5) Brown CE, et al. Palliative care for patients dying in the intensive care unit with chronic lung disease compared with metastatic cancer. Ann Am Thorac Soc 2016; 13: 684-689.

	6) Koyauchi T, et al. Quality of dying and death in patients with interstitial lung disease compared with lung cancer: an observational study. Thorax 2021; 76: 248-255.
研究の方法	研究デザイン 対象患者および家族に対してアンケート(別添①)を実施し、回収する。患者情報に関しは診療録に基づき後方視的に以下の項目を収集する。 1)患者背景:年齢、性別、疾患名、重症度、併存症、在宅酸素療法有無、入院歴、等 2)ACP 開始初回の状況:開始日、話し合い参加者、話し合いの場(入院・外来)、疾患状態(診断時、治療開始時、急性増悪からの回復期、在宅酸素導入時など)、等 3)ACP 開始後の状況:人生会議手帳記載の有無、記載項目と内容(私の大切にしていること、代理意思決定者、私の医療・ケアへの希望)、等
個人情報の取扱い	本研究で利用する資料や情報、記録からは、直接ご本人を特定できる個人情報は削除した上で、研究成果は学会や雑誌等で発表されます。取り扱う情報は、厳密に管理し、外部に漏洩することはありません。なお、個人情報の利用目的等について詳細をお知りになりたい場合は、「問い合わせ窓口」までご連絡下さい。
個人情報開示に係る手続き	個人情報開示の手続きについては、「問い合わせ窓口」にご相談下さい。
資料の閲覧について	ご要望があれば、開示可能な範囲で、この研究の計画や方法について資料をご覧いただくことができます。ご希望の方は、「問い合わせ窓口」までご連絡下さい。
問い合わせ窓口	聖隷浜松病院 呼吸器内科 (氏名) 河野 雅人 TEL:053-474-2222(代表) 呼吸器内科外来 9:00~17:00 平日